

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2021年12月号

大分市議会第4回定例会閉会

12月14日、本会議を開き、各常任委員長報告、質疑、討論、採決で閉会しました。提案された議案に、党議員団を代表して福間議員が反対討論をおこないました。



反対討論要旨—議第126号・令和3年度大分市一般会計補正予算(第4号)について。令和3年度12月の一般会計補正額は、38億7,600万円です。新型コロナウイルス

感染症対策関連として、大分駅中央口広場に設置している大分市抗原検査センターの運営の追加計上や介護・訓練等給付費、障がい児通所支援費の扶助費などには賛同。

しかし、県内の119番通報を一手に受ける消防司令センターの共同運用の整備を進めようとする業務委託料、またこの事業を推進するために、大分市と11市、2消防組合、1村と消防通信司令業務の委託に関する協議の14議案に反対しました。

一般質問の要旨を紹介します。

(1) ワクチンと一体で大規模・頻回・無料検査を

日本でも、世界でもワクチン接種後の「ブレークスルー感染」が起きています。また欧州を中心に新変異株「オミクロン株」の報告が相次ぎ、警戒感が広がっている。

感染抑止のためには、ワクチン接種(追加接種を含めて)を安全にすすめるとともに、大規模な検査を行い、感染の火種を見つけ、消していくことが必要。



①「いつでも、誰でも、何度でも」大規模・頻回・無料のPCR検査を国費で行えるよう政府に求めていくこと。

②職場、学校、保育所、幼稚園、家庭などでの自主検査を大規模かつ無料で行えるようPCR検査・抗原検査の体制を強めていくこと。

福祉保健部長—①「感染リスクを引き下げるため、ワクチン接種・検査による確認促進が有効であるとして都道府県による検査無料化の取り組みへの支援が検討されている」②「国・県からは配布された抗原検査キットの活用、大分市抗原センターの活用と合わせ検査体制の充実を図る」

(2) 緊急時に備えられる医療機関・保健所の体制強化を

①陽性者は「原則自宅療養」から「原則入院療養」への抜本的転換を政府に求めていくこと。

②消費税収を活用した医療版「減反政策」である病床削減推進法の撤回を。

③地域医療構想はパンデミックを想定せず、高度急性期・急性期を中心に約20万床も削減する。命が守れる必要病床数を再検証するように政府・県に求めていくこと。

④いま最優先で行うべきは、感染者の7割を受け入れ、その最前線を担っている公立・公的病院の再編・統合等ではない。436の公立・公的病院の再編統合リストの撤回を求めること。

⑤保健所の機能マヒは絶対に起こしてはならない。正規職員を増員すること。



福祉保健部長—①「病床確保など医療提供体制整備に十分な財政措置を国に要望している。入院が必要な人が確実に入院できる体制整備に努める」

②「本市が参画する大分県地域医療構想調整会議で慎重に協議する」③④地域医療の在り方は地域の実情をふまえ議論重要。また国立・公立病院の重要性・役割を再認識した。本市が参画する大分県地域医療構想調整会議で慎重に協議する」⑤令和3年度に保健師5名、事務職2名、ワクチン事業の正規事務職15名を増やした。新年度に保健師・臨床検査技師の採用を予定している」

★1暮らしと営業への補償と支援、2自衛隊の大規模移動訓練、3国保の高額療養費、4公共施設の施設整備は次回報告させていただきます。

市長に新年度予算要望を申し入れ



11月15日、党中部地区委員会と市議団は、約130項目を市長に要望しました。

私は、新型コロナ対策として検査の拡充、低所得者支援の拡充を求めました。

福祉灯油の支給を、財務部長に要望書提出



12月3日、大分生活と健康を守る会は、原油価格高騰にともなう生活への影響が大きい、所得の低い方々への支援を求める

要望書を提出しました。

暮らしや地域の意見・要望をお寄せください。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

